

# 国益・国民益へ「保守の極言」

## 著述家・吉澤国雄さん新刊

国民運動団体「日本会議」の会員で、著述家の吉澤国雄さん(73)＝安曇野市三郷明盛＝はこのほど、

政治編、軍事編、社会編、教育編の4章構成だ。

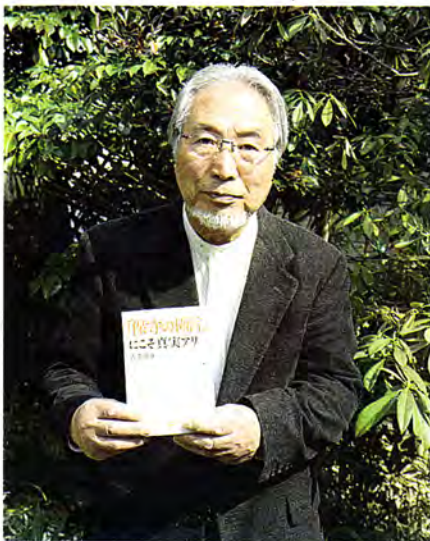
国政への提言書『保守の極言』にこそ真実アリを多岐にわたるテーマを極論に沿って論述したとし、その論述について「国益、国民益の実現に向けての献策」とする。

一般に極端だと、真実から遠のくと考えがえられがちだが、極論や極言を用いた理由を「物事が『左』に寄りすぎた場合、強力なパネが『右』に引く張ること

で中庸(真実)に戻すことができる」と説明する。

軍事編には、「北朝鮮の核脅威から目をそらさない」「北』よりもっと脅威となる中国の日本憎しを肝に銘ずる」といった項目が見られる。

東洋出版発行。四六判、256頁。1500円(税別)。問い合わせは書店へ。



最新の著書を手にする吉澤さん

(中村弘明)